



お元気ですか！
志村 たかよし です

第700号 2014年7月6日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

第2回定例会

奥村暁子議員が一般質問

6月23日、奥村暁子議員は、日本共産党区議団を代表して第2回定例会（6/19～7/1）における一般質問にたちました。

国政問題で区長の見解を問う

奥村議員は、安倍首相が解釈改憲によって日本を海外で戦争できる国にしようとしている「集団的自衛権行使容認」について、命よりも経済効率を優先する「原発再稼働」を厳しく批判した「大飯原発再稼働差し止め判決」とまだ不安が残る大気や給食食材の放射線量測定のとりにくみについて、「医療・介護総合法」によって介護サ-



質問する奥村議員＝本会議場

ビスの縮小をねらう介護保険制度改革について、など区民生活に大きな影響を与える国政の問題について区長の見解を問いました。

区民の要望に応え住宅制度や子育てに優しいまちづくりを提案

党区議団への生活相談のなかで住宅相談は少なくありません。

奥村議員は、住み続けられる中央区を実現するための「家賃助成制度」や公共住宅の増設を求めました。

また、双子の親でもある奥村議員は、保育園で子育て中の保護者の方たちから寄せられた要望をうけ、「自転車対策」「銀座1丁目駅のエレベーター設置」など多岐にわたって提案し、区長の見解を問いました。

教育委員会制度改革について

「戦争できる国づくり」が進められる政治状況と軌を一にして子どもたちの教育環境が次々と変え

奥村暁子議員の質問項目

1. 日本を「戦争する国」に変える集団的自衛権行使容認について
2. 命よりも経済効率を優先する「原発再稼働」について
3. 介護サービス縮小をねらう介護保険制度改革について
4. 住み続けられる中央区を実現する「家賃助成制度」について
5. 国の統制を持ち込む教育委員会制度改革について
6. 子育てに優しいまちづくりについて

られており、行政から独立しなければならぬ教育分野に、国の統制を持ち込む教育委員会制度改革が行われています。

奥村議員は、この問題を取り上げ、教育長の見解を問いました。

なお、奥村議員と区長、教育長との一般質問でのやりとりは、ひきつづき掲載します。

地下鉄整備促進議員連盟が講演会

「東京は走り続けなければならない」とは…

中央区議会地下鉄整備促進議員連盟（共産党はオブザーバー）は、6月25日、晴海のホテルマリナーズコート東京で落合庸人氏の講演会を開催しました。

落合氏はUR（現在）の幹部役員を歴任し、晴海トリトンやリバーシティ21の再開発事業に深く関わった方で、晴海をよくなる会のシニアアドバイザーとなつていきます。

落合氏は晴海地域での地下鉄整備について資料（下）を使って説明し、「都心と臨海部の二つの核を結ぶ役割」「観光の活性化を図るもの」と位置づけ、オール東京、オールジャパンで取り組むものと述べました。

私は「東京への一極集中についてどう思うか」「再開発を続けているが需要の裏付けはあるのか」



講演する落合氏

「国際競争力」といいますが、ど

んな都市でも勝ち続けることはできないのでは」と落合氏に質問しました。

落合氏は「田舎の得意技、都市の得意技がある。日本で国際競争力を持つ都市は東京。地方は自分でまちをどうするか考えてもらい、東京は世界の中で勝ち抜く都市にする」「再開発事業に国際的な投資を受け入れることにより海外から人や物が来る」「勝ち続けるために走り続けなければならない」と答えました。

中央区のまちづくりは、大規模開発中心になっていますが、落合氏の話によって、「国際競争に勝ち抜くためのまちづくり」が進められていることが裏付けられました。

「走り続けなければならない」ということは、多額の税金を投入する再開発事業を続けることによつて「世界で勝つ」まちづくりを延々としなければならぬということになります。



「意見」を要する「要する」は、軽に「連絡」したと（03-6369-6369）

当日の資料

ブログもごらんください

志村たかよしワールド

検索